

# 第2次福津市観光基本計画 概要 (計画期間：令和2(2020)年度～令和11(2029)年度)

## ●策定の目的

・第1次福津市観光基本計画(2010年度～2019年度)の考え方を引き継ぐとともに、変化し続ける社会情勢に対応するため、福津市における観光分野の総合的・計画的な指針、及び市民・事業者・団体・行政が福津市の観光振興に取り組む際の基本的な方向を示し、観光客の誘致を促進するとともに、市内の多彩な観光資源の高付加価値化や連携を図って回遊性を高め、観光事業を充実させて消費、雇用、創業、社会基盤の整備等を生み出し、地域産業の活性化を図ることを目指し策定します。

## ●背景

・福岡・北九州両政令指定都市に近接し地理的条件・交通アクセスにも恵まれて、年間で570万人という決して少なくはない観光客を迎えながら、それが直ちに地域経済の浮揚やまちの活性化に結びついていない。

## 観光振興の成果と課題

### ●観光振興の成果

H22年、福津市観光産業活性化協議会を市・商工会・観光協会・市民代表・学識経験者で組織。「もてなし力の開発」では鯛茶づけフェアをはじめとする11事業を展開。「発信力の向上」では事業に伴う広報・広告を積極的に行うとともに独自事業として観光PR動画を作成。観光入込客数は570万人超(H30現在)。

### ●課題

#### 【観光客の周遊】

宮地嶽神社を中心に観光地を周遊できる対策

#### 【PR・宣伝】

観光地の露出やPR、特産物等の宣伝。若い世代や女性に向けた情報発信

#### 【案内・看板】

目に入りやすく分かりやすい案内や看板、商品の説明等

#### 【交通アクセス】

バスの本数を増やす以外での交通アクセスの改善

#### 【宿泊】

宿泊施設の整備や施設の情報の発信

#### 【体験・イベント】

体験できる場や他地域と重複しないイベントの内容等の工夫

#### 【インバウンド】

外国語の案内標識やメニュー等の外国人観光客への対策

#### 【連携・体制】

団体や事業者間の連携を強化、受入れ態勢を整備

## 視点・目標像

### 【目標像】福津の魅力を生かした持続可能な観光のまち

地域活性化のためには、市外の人々との観光以上移住未滿の「関係人口」をつくるのが重要だと言われています。観光を産業の柱のひとつとしてとらえ直し、福津の魅力を生かした持続可能な観光という新たな経済基盤をつくりま

### 【視点】地域総体産業として取り組む(地域産業の活性化、波及効果) ※継続

観光振興へ取り組むことにより、宿泊、飲食、物販、交通等の地域の観光関連産業の活性化だけでなく、地域社会全体の産業への波及効果が期待されます。具体的には、物産、飲食のための原材料を生産する農林水産業、これを加工流通するための製造業、運輸業、商品をデザイン開発する対事業所サービス業などは、観光関連産業の周辺に位置し、さらにこれらの事業所で働く人々のための生活サービスをはじめとした地域のサービス産業などへの波及もあることから、観光振興は、地域総体産業として位置づけられます。

## 基本方針

### ○基本方針1 国内外の人が何度も訪れたい魅力をもつ(観光資源の魅力向上)

本市の財産である自然資源・歴史資源・景観資源等をしっかりと守りつつ生かして、国内外の人が何度も訪れたい魅力をもつまちをめざします。

### ○基本方針2 観光拠点を整備し、観光消費額を拡大する(受入環境の充実)

市内中心部に位置する宮地嶽神社エリア、海岸エリア、津屋崎千軒エリアの主要拠点の整備と、市内に点在する世界遺産の古墳群エリア、畦町エリア、自然公園やキャンプ場、直販施設への誘導を促進します。

### ○基本方針3 ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化する(効果的な情報発信)

「福津」のブランド・イメージを効果的に伝え、市内外の方々が福津に関心を持ち、愛着を感じてもらえるように、ブランドの構築や管理、販売促進のための活動を強化します。

## 基本施策

- 地場産食材を使った福津らしい食の開発・普及
- 福津の目玉となる特産品の発掘・磨き上げ
- 自然環境資源や歴史・文化資源の魅力発掘・磨き上げ
- 自然環境、歴史・文化、産業等の資源を生かした体験、交流型観光の推進
- 異分野との連携・組み合わせ等による新たな観光資源の創出

- 観光案内の充実
- 観光交流施設・地域の機能強化
- 移動しやすい交通基盤の整備
- 市内宿泊環境の向上と改善
- 福津製品の消費拡大
- 多言語対応等の促進
- 観光人材の発掘と市民意識の向上

- 各種媒体を通じた広告・パブリシティの強化
- 市内観光関係機関・団体との連携による共同プロモーション
- 市独自の観光情報発信の強化
- 自治体等との連携による情報発信及び誘客推進

## 推進体制

- 福津市観光産業活性化協議会の再編
- (一社)ふくつ観光協会の機能強化と日本版DMOに相当する組織・事業実施体制の確立

## 成果指標

### ○観光入込客数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

5,733千人 ⇒ 6,703千人  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

### ○観光消費額

※1人あたり旅行消費額×観光入込客数

14,378百万円 ⇒ 18,054百万円  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

### ○延べ宿泊者数

※福岡県観光入込客数推計調査報告分

14千人 ⇒ 100千人  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

### ○満足度

※基礎調査結果

81.6% ⇒ 86.6%  
(2018年度 ⇒ 2029年度)

### ○リピーター率

※基礎調査結果

64.4% ⇒ 69.4%  
(2018年度 ⇒ 2029年度)